

第65回 中越地区中学校剣道競技大会 兼 第49回新潟県中学校総合体育大会剣道競技予選会要項

- 1 主催 新潟県中学校体育連盟 中越地区中学校体育連盟
- 2 主管 小千谷市中学校体育連盟
- 3 後援 小千谷市教育委員会 小千谷市スポーツ協会 小千谷市剣道連盟 新潟日報社
- 4 運営 中越地区中学校体育連盟剣道専門部
- 5 期日 平成30年7月4日(水)～5日(木)
- 6 会場 小千谷市総合体育館
- 7 競技種目 男子・・・団体戦・個人戦
女子・・・団体戦・個人戦
- 8 参加資格 下記により選抜された者で、郡市中学校体育大会の予選会において、出場資格を得たもので、当該の中学校長が認めたものとする。
 - (1)団体戦 1校1チームとする。
 - (2)個人戦 各郡市大会のベスト16の者の他に、各学校4名以内のフリー参加を認める。
※他競技の地区大会に参加し、県大会の出場権を得て他競技を優先する場合は、本大会には出場できない。
- 9 登録人員
 - (1)団体戦 監督1 コーチ1 マネージャー1 選手5 補員2 (計10名)
 - (2)個人戦 監督1 コーチ1 選手1 (補員は一切認めない。)※監督・コーチは当該校教員、マネージャーは当該校教員か生徒とする。なお、教員以外のコーチは学校長が認めた者で、出場校1名以内とし、指導者承認書を申込時に提出することとする。また、同一人物が複数校をコーチすることは認めない。
- 10 競技日程

第1日目 7月4日(水)	第2日目 7月5日(木)
会場開門 7:45	会場開門 7:45
受付 8:00～	受付 8:00～
役員代表者会 8:30～	役員代表者会 8:30～
選手整列 8:55	選手整列 8:55
開会式 9:00～	選手会 9:00～
競技開始 9:30	競技開始 9:20
(1)団体女子予選リーグ	(1)男女個人戦
(2)団体男子予選リーグ	閉会式 15:30～
(3)男女団体決勝トーナメント (県総体出場、シード決定戦を含む。)	
終了予定 17:00	

11 競技規則

本要項にない事項は、全日本剣道連盟試合・審判規則ならびに試合・審判細則 に準ずる。

12 競技方法

(1) 団体戦

① 試合場

10m×10m。開始線の位置は中心から1.4mとする。

② 試合時間

ア. 予選リーグ・決勝トーナメント1回戦・県総体シード決定戦は3分間・3本勝負。勝敗の決しない場合は引き分けとする。

イ. 決勝トーナメント準々決勝以降（県総体出場決定戦を含む）は3分間・3本勝負で、延長は2分間を1回行い、なお勝敗の決しない場合は引き分けとする。ただし、団体戦としての勝敗が決している場合は、延長を行わない。

③ 審判

3人制とする。

④ 出場順

選手申込み用紙の順とし、締め切り後の変更は認めない。

⑤ 選手・補員の補充

ア. 申込み後に、けが・病気等で出場できない選手または補員が生じた場合は、その選手・補員の登録を抹消し、新たに補員の補充をすることができる（理由によっては認められない場合もある）。その際、選手の変更は補員からとする。代表者会終了後は補充を認めない。

イ. 選手に欠員が生じた場合は、あらかじめ登録された補員をもって補充しなければならない。

ウ. 選手に代わって補員が出場した場合、もとの選手は後に復帰できない。

エ. 上記「ア」により補員を使いきった後に、選手の欠員が生じたとき、その対戦は不戦敗（2本負け）となる。

⑥ 試合方法

ア. 男女とも予選リーグを行い、各リーグの上位2チーム（参加状況によっては、上位1チーム）を予選通過とする。

イ. 予選通過チームによりあらためて決勝トーナメントを行い、順位を決定する。その際シード制をとり、予選同一リーグのチームは決勝まで対戦しないようにする。

⑦ 勝敗の決定

ア. 予選リーグでは、(a)勝者数・(b)総本数の順で決定するが、いずれも同数の場合は引き分けとする。

イ. 決勝トーナメントでは、(a)勝者数・(b)総本数の順で決定するが、いずれも同数の場合は代表者戦（3分間・1本勝負・勝敗を決するまで行う）で決定する。

⑧ 予選通過順位の決定

(a)勝点（勝－1 引分－0.5 負－0）・(b)勝者数・(c)総本数・(d)代表者戦（3分間・1本勝負・勝

敗を決するまで行う)の順で決定する。代表者戦についてはリーグ戦1位もしくは2位のチームが2チームの場合は、任意の代表者による代表者戦を3分間1本勝負で、勝敗が決するまで行う。また、リーグ戦1位もしくは2位チームが3チーム以上の場合は、任意の代表者による代表者戦を3分間3本勝負とし、勝敗の決しない場合は、延長を勝敗の決するまで行う。

(2)個人戦

①試合場

団体戦に同じ。

②試合時間

3分間・3本勝負とし、勝敗の決しない場合は、延長を勝敗の決するまで行う。

③審判

団体戦に同じ。

④試合方法

トーナメント方式で行う。(専門部会で一部シード選手の抽選を行う。)

13 表彰

男女団体戦・男女個人戦の優勝者にカップ(持ち回り)を贈り、団体戦は3位(ベスト4)、個人戦は5位(ベスト8)まで賞状を授与する。

14 申込み

(1)申込み締切 平成30年6月14日(木)正午必着とする。

(2)申込み先

〒949-4525

長岡市川崎5丁目485番地1 長岡市立東北中学校内

中越地区中学校剣道競技大会事務局 小林宗徳 宛

TEL0258(35)2715 Fax0258(35)1727

(3)申込み書類 ①中越地区中学校剣道競技大会申込みデータ「申込み書」1部

②外部指導者(コーチ)を登録する場合は「指導者承認書」

③外部引率者、監督依頼をする場合は「依頼監督者報告書」、「保護者・外部指導者引率報告書」

(4)その他 中越地区剣道大会申込み書の電子データを、6月14日(木)正午までに、小千谷市立小千谷中学校 高橋耕平 宛 (E-mail yachu@ojiya.ed.jp)にメールで送信すること。件名は「地区剣道大会(〇〇中)申込み」、添付ファイル名は「H30プログラムデータ用(〇〇中)」とすること。大会の組合せ等は、抽選会終了後、メール配信されます。

15 参加料

1人500円。(団体・個人両方出場する場合も500円。)登録選手のみ(マネージャーは含めない)。下記へ6月14日(木)までに振り込むこと。振り込み手数料は参加校の負担とし、学校名を明記すること。

振込先 : 北越銀行 川崎支店 (店番号071)

口座番号 : 普通 2021311

名義 : 中越地区中体連剣道専門部 会計 山下 晃司 ※振り込みの際、振込人の欄には学校名の入力をお願いします。長岡市立南中学校の場合は「ナガオカ ミナミ」など、同名校が他都市にもある場合には都市名も忘れずに入力してください。

16 組合せ

中越地区剣道専門部会で団体戦と個人戦を抽選する。

17 県総体出場人数

(1) 団体戦 男女各上位6チーム

(2) 個人戦 男女各上位12人が県総体に出場できる。

18 県総体申込み

本大会終了後、会場にて県総体出場申込みを受け付ける。申込み用紙等は県中体連HPからダウンロードして使用すること。出場権を得た場合の引率者・引率生徒数や、宿泊の有無などを決めておくこと。

(1) 出場申込み書

(2) 「依頼監督者報告書」「保護者・外部指導者引率報告書」(該当する場合のみ)

(3) 参加料納付書 金額、領収書部分の宛先などを記入する。

(4) 参加料 ¥900×人数(登録選手のみ。マネージャーは含まない。)

(5) 宿泊申込み書 宿泊者全員分(引率者含む)を申し込む。

(6) 返信用封筒 92円切手添付、宛先明記のこと。

学校長職印、記載責任者印が必要となる。なお、(6)は宿泊する場合のみ。

19 新潟県中学校体育連盟申し合わせ事項

(1) 試合規則・審判規則・試合運営に関すること

① サポーター(足袋、テーピング、コルセットを含む)

- ・医療上必要と認めた場合に限り使用を認める。使用する場合は届け出た上で使用する。
- ・サポーター等は、肘や膝等に付ける物を足につけたり、ゴムや革及び滑り止めを底に張った物の使用は禁止する。
- ・指先単独のテーピングは届け出不要とする。
- ・届け出と違う物を使用した場合は、替えさせる。届け出のない場合は、はずさせる。

② 面

- ・面金を黒塗りにした面など、通常の配色でない面の使用を禁止する。ただし、日常の稽古や練習試合での使用については特に制限を設けない。

③ 竹刀

- ・不正竹刀を使用した場合は、発見した時点でその選手の負けとする。既得本数は認めない。以下の試合は欠員のまま試合をする。(ただし、予選リーグから決勝トーナメントに進んだ時は、補員の出場を認める。)不正竹刀とは、「ビニールやセロテープをまいた竹刀」「異物を挿入した竹刀(異物と

は先革のゴム、柄頭のちぎり、鉄片以外の物)」「検印のない竹刀」を指す。

- ・竹刀の検量を行う。次の基準による。

	男子	女子
長さ	1 1 4 c m 以下	1 1 4 c m 以下
重さ	4 4 0 g 以上	4 0 0 g 以上
太さ	2 5 m m 以上	2 4 m m 以上

○竹刀先革の先革の長さは50mm以上とする。

○柄革は、滑り止めや模様等のない無地のもので白色とする。

④ 鐳について

- ・革色または白色、直径9cm以下のものを使用する。それ以外の鐳を使用した場合は、その場で替えさせる。

⑤ 弦について

- ・弦の色は白または黄色が望ましい。

⑥ 剣道具装着について

- ・剣道着、袴への校名や校章の刺繍は、大きさや色を含め華美にならないように配慮する。
- ・面紐の長さは結び目より40cm以内とし、色は赤系統など華美な色は禁止する。
- ・面皮革の色は黒または紺とし、20cm以内の長さとする。
- ・目印は、幅5cm・長さ70cmのものを着用する。

⑦ 試合場について

- ・役員、審判員、監督、コーチ、マネージャー、選手、補員以外は試合場に入れない。

⑧ 観戦・応援について

- ・団体戦での、先鋒・大将戦は監督・選手ともに選手席で正座をして観戦する。個人戦においての監督も同じとする。
- ・選手交代の際のよけいな動作（握手・胸突き）は禁止する。
- ・試合場内で、円陣でのパフォーマンスや団体での礼の際のパフォーマンスは禁止する。
- ・選手席への時計の持ち込み、サイン等の指示や試合者への声援はしてはならない。応援は拍手のみとする。
- ・試合場内への応援旗、部旗、その他試合に関係の無い物の持ち込みは禁止する。

⑨ 水分補給について

勝敗が決するまで行う延長戦においては、健康安全の配慮により10分を目安に3分程度の休憩を設ける。その際必要に応じて目立たない場所での給水を認める。（10分・3分の時間は原則である。選手の状況を見て審判主任・主審が判断する。）

⑩ 監督・コーチの服装について

監督、コーチの服装は白ワイシャツ、グレー（無地）ズボンまたはスカート、エンジのネクタイ、紺の靴下とする。

(2)特別規定

- ① 出場選手は、下記の要領で布製の名札を着用する。黒または紺地に白文字とし、学校名（県名、道場名禁止）氏名を明記する。着用していない選手の出場を認めない。



←学校名に（中）を入れる。

←姓（縦書き白文字）

←同姓がいる場合は名前の頭文字を入れる。

- ② 化学繊維竹刀の使用を認める。
③ アイガード、ポリカーネイド面の使用を認める。